

◆特別会計の概要

※各会計の表中の「純計額」とは、予算総額から一般会計からの繰入金を除いた額です。

◆国民健康保険特別会計

(単位：千円)

	23年度	22年度	比較	
			増減額	増減率(%)
予算総額	13,819,000	13,514,000	305,000	2.3
純計額	12,547,418	12,425,831	121,587	1.0
一般会計繰入金	1,271,582	1,088,169	183,413	16.9
国民健康保険事業基金繰入金	49,000	70,000	△ 21,000	△ 30.0

平成20年度より実施された医療制度改革を勘案した中で、歳出総額を13,819,000千円（対前年度比2.3%増）と見込んでおります。増額の主な要因としては、70歳以上の被保険者数の増加に伴う医療給付費の増（298,822千円）等となっております。なお、加入世帯は23,900世帯（対前年度比0.8%増）、加入者数は40,400人（前年度同数）を見込んでおります。

◆公共下水道事業特別会計

(単位：千円)

	23年度	22年度	比較	
			増減額	増減率(%)
予算総額	7,227,000	8,056,000	△ 829,000	△ 10.3
純計額	4,984,668	5,655,622	△ 670,954	△ 11.9
一般会計繰入金	2,242,332	2,400,378	△ 158,046	△ 6.6

平成23年度の整備予定は、藤崎地区をはじめとする管渠整備を推進し、津田沼、印旛、高瀬の3処理区で処理区域の拡大を図ります。整備面積35.59ha、整備延長5,607.40mを実施することにより、23年度末下水道普及率は、87.7%（22年度末下水道普及率見込み86.7%）となる見込みです。また、津田沼浄化センター既存施設の改築更新、水処理施設の増設工事を行います。

◆介護保険特別会計

(単位：千円)

	23年度	22年度	比較	
			増減額	増減率(%)
予算総額	7,341,000	6,705,000	636,000	9.5
純計額	6,173,813	5,640,322	533,491	9.5
一般会計繰入金	1,167,187	1,064,678	102,509	9.6
介護給付費準備基金繰入金	159,418	46,930	112,488	239.7
介護従事者処遇改善臨時特例基金繰入金	0	28,194	△ 28,194	皆減

21年度から23年度までの第4期介護保険事業計画に基づき、第1号被保険者数31,827人（対前年度629人増）、要介護・要支援認定者数4,094人（対前年度221人増）、居宅サービス利用者数2,536人（対前年度72人増）、施設サービス利用者数752人（対前年度117人増）、地域密着型サービス利用者数181人（対前年度19人増）を見込んでおります。

◆後期高齢者医療特別会計

(単位：千円)

	23年度	22年度	比較	
			増減額	増減率(%)
予算総額	1,301,000	1,215,000	86,000	7.1
純計額	1,106,066	1,022,214	83,852	8.2
一般会計繰入金	194,934	192,786	2,148	1.1

75歳以上（一定の障害がある65歳以上）の人を対象とした後期高齢者医療制度は県内54市町村で構成する「千葉県後期高齢者医療広域連合」が運営します。市は、主に保険料の徴収事務や各種申請の受付等の業務を行います。この後期高齢者医療制度において、医療費にかかる費用負担としては、患者負担を除き、公費約5割（国4・県1・市1）、現役世代の支援金（若年者の保険料）が約4割、保険料が1割となっております。なお、平成23年度の後期高齢者医療制度の加入者数は13,314人（対前年度6.5%増）を見込んでおります。